

第43回 日本医学放射線学会秋季臨床大会

第21回 胸部放射線研究会

The 21th Annual Meeting of the Japanese Society of
Thoracic Radiology



2007・Nagoya

大会長：片田 和廣（藤田保健衛生大学医学部放射線医学教室）

当番世話人：原 眞咲（名古屋市立大学大学院共同研究教育センター
中央放射線部）

日 時：平成19年10月26日（金）

会 場：名古屋国際会議場

第13回中国四国胸部画像カンファレンス プログラム

日 時：平成18年11月18日(土) 14:00～17:00

場 所：ホテルニューフロンティア高松(香川県高松市)

当 番 世 話 人	：さぬき市民病院放射線科	小林 琢哉
当 番 顧 問	：香川大学放射線科	大川 元臣
代 表 顧 問	：徳島大学放射線科	西谷 弘
病理コメンテーター	：高松平和病院病理部	佐藤 明
事 務 局	：香川県立保健医療大学看護学科	佐藤 功

発表症例

座長：さぬき市民病院放射線科 小林 琢哉

	出題者	解答者
1	香川大 結節周囲に空洞を呈した硬化性血管腫の一例	川崎医大
2	徳島大 咳・痰を主訴にした ABPA の一例	岡山大
3	高知大 経過観察により縮小後再増大をきたした壊死性肉芽腫性炎症の一例	広島大

《 休 憩 》

座長：川崎医科大学放射線科 玉田 勉

4	山口大 急性骨髄性白血病患者に認められた肺胞蛋白症	高知大
5	岡山大 検診発見の AVF に合併した multifocal multinodular pneumocyte hyperplasia (MMPH) の一例	島根大
6	鳥取県中 両側多発 consolidation の器質化肺炎を疑った一例	愛媛大

共 催：中国四国胸部画像カンファレンス(胸部放射線研究会中国四国支部)第一製薬株式会社

Journal of Thoracic Imaging への掲載について

Journal of Thoracic Imaging (JTI) は、Society of Thoracic Society (STR), Japanese Society of Thoracic Radiology (JSTR), Korean Society of Thoracic Radiology (KSTR) の Official Journal で、Impact factor 0.763 (2001) の雑誌です。

2002年の RSNA において開催された編集会議において、日本の胸部放射線研究会事務局と雑誌編集事務局の間で、以下の点が合意されました。

日本の胸部放射線研究会によって査読され採用が決定された3つの英文の Case report を JTI の review を省略して Journal of Thoracic Imaging にまとめて掲載する。

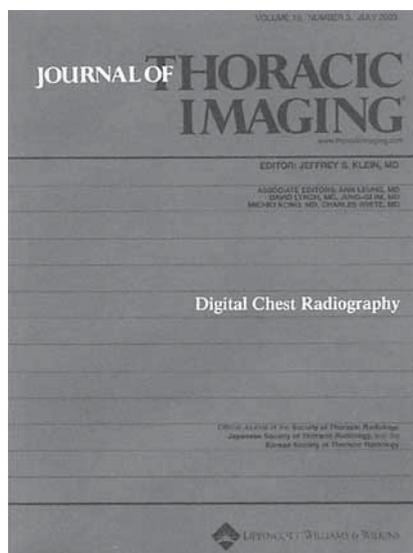
今後の予定

- 本年 10月26日 胸部放射線研究会
- 12月 世話人の推薦による JTI 候補演題の決定、論文執筆の依頼
- 来年 3月 論文締め切り
- 4月 査読
- 5月 改訂および再投稿
- 6月 JTI に3論文送付

JTI 日本事務局：琉球大学医学部放射線医学分野

〒903-0215 沖縄県西原町字上原 207

TEL : 098-895-1162 FAX : 098-895-1420



NPO 法人について

事務局では胸部放射線研究会が独自の財政基盤を持ちながら、学術集会ばかりでなく、種々の活動を推進していくために、NPO 法人を2003年11月に設立しました。胸部放射線医学に興味をもち発展を願う人なら誰でも参加できる組織で、法人格を得て種々の活動を積極的に進めていこうとするものです。

名 称：特定非営利活動法人（NPO 法人） 日本胸部放射線医学研究機構
Japan Thoracic Radiology Group (JTRG)

事 業：・胸部放射線医学領域における学術振興のための研究会開催の支援
・胸部放射線医学領域における多施設共同臨床研究の支援
・胸部放射線医学領域における民間機関との共同研究の支援
・胸部放射線医学領域における国際協力活動あるいは共同研究の支援
・医療従事者ならびに社会一般に対する胸部放射線診療の広報活動

正会員（個人）：年会費 1万円

準会員（企業）：入会金 2万円 年会費 2万円

このNPO 法人に興味をもたれ、資料や入会申込書等を必要とされる方は、E-mailにて胸部放射線研究会事務局まで氏名、所属機関名、連絡先住所、電話番号をお知らせください。資料を送らせていただきます。

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町
滋賀医科大学放射線医学教室内
胸部放射線研究会事務局
TEL：077-548-2288
FAX：077-544-0986
E-mail：hqradiobelle@shiga-med.ac.jp

第3回日韓胸部放射線会議の報告

第3回日韓胸部放射線会議事務局 栗原 泰之

本年6月15日(金)から16日(土)の2日間にわたり、横浜シンポジア(横浜山下公園前)において Thoracic Imaging 2007と銘打って The 3rd Joint Meeting of Korean and Japanese Societies of Thoracic Radiology(第3回日韓胸部放射線会議)(代表:聖マリアンナ医科大学 中島康雄)を開催しました。前日に関東地区は梅雨入りとなり雨天が危惧されましたが、前夜の Kick-Off Party 以外は会期を通じて晴天に恵まれ、まぶしい緑と美しい横浜港を臨みながらの会となり幸運であったと思います。参加者は韓国から38名、台湾から5名、そして本邦から49名の計92名にのぼり、国際的な雰囲気の中で楽しくそして熱い討論が繰り広げられました。

韓国、日本の双方の新進気鋭の先生方により up-to-date なトピックについての講演がなされました。プログラムに関しては、多数の本研究会員の先生方のご協力をいただきました。ここでは紙面の都合上、当研究会員(日本側)の講演の一部をご紹介します。

2つのシンポジウムが用意され、初日のリウマチ肺では、尾崎先生(聖マ大)の臨床の総論の後、田中先生(山口大)にリウマチ肺の画像診断について sharp なまとめをしていただきました。2日目の肺癌の新しい診断法では、大野先生(神戸大)MRIによる高い診断能を詳細な研究の裏付けにて示していただきました。また野間先生(天理よろず)、東野先生(天理よろず)、原先生(名市大)には座長と症例提示を smart にこなしていただきました。

松永先生(山口大)と上甲先生(大阪大学)には Topic presentation(最新話題提供)の司会をお願いし、坂井先生(九大)に digital radiography に関して先生の近況の研究成果を提供していただきました。

ランチョンセミナーとしては、高橋先生(滋賀医大)にびまん性疾患の画像診断について多彩な症例を用いて読影のコツを含めてお話いただき、また荒川先生(獨協医大)にはアスベスト関連疾患について基礎から画像までを系統的に講義してもらいました。高橋先生(旭川医大)と村山先生(琉球大)には座長としてまとめていただきました。

今回の Image interpretation session は日韓チーム対抗戦であり、すべての症例はステージの上で初めて回答者に提示されました。日本チームの構成は佐藤先生(東邦大)、芦澤先生(長崎大)、杉浦先生(慶応大)で、出題された全問に対して初見にもかかわらず、鋭い読影を披露し見事に正解しました。なお台湾の Wan 先生には判定を取り持っていただきました。

ポスターセッションには32演題が登録され、大会1日目の夕方(welcome receptionの前に)に口頭による研究者による説明が行われました。日韓のみならず台湾からの演題も多数あり国際色豊かな物となりました。

今回の大会で特筆すべきことの一つとして本邦における胸部放射線研究会の創生期から尽力をいただきアジア胸部放射線科学会までご指導いただいた河野通雄先生が ASTR の honorary

member になられたことを報告します。大会2日目のはじめに村田先生(滋賀医大)からご紹介があり、ASTRのChairpersonであるKyung Soo Lee先生からこれを記念して河野先生に対し賞が贈られました。

最後になりますが、参加者各位、そして準備および会場進行にご尽力いただいたLocal Committeeの先生方には大変お世話になりました。御礼申し上げます。



ご 案 内

胸部放射線研究会 10月26日(金) 8:40～17:30
第4会場(名古屋国際会議場レセプションホール西)

口演発表者へのご案内

発表について

- 1) PC プレゼンテーションの発表に限らせていただきます。
- 2) 参加受付終了後、各自のセッション開始予定時刻の30分前までに PC センターまでご自身の PC をご持参の上、発表データの動作チェックを行って下さい。なお、音声出力はできませんので ご注意ください。
- 3) 講演予定時刻の20分前になりましたら PC を次演者席近くの PC オペレーター席へお持ちください。
- 4) 発表時間は司会者に従い厳守して下さい。発表6分、質疑応答3分を予定しております。
- 5) 会場内でのテスト出力はできませんのでご注意ください。

PC プレゼンテーションについて

- 1) 必ず発表に使用する PC はご持参下さい。また、バックアップ用にデータもご持参下さい。発表機種は、Windows98 以上か Macintosh (Mac OS8.5) 以上が動作する PC を使用することをお勧めします。
- 2) 発表中またはその準備中にバッテリー切れになることがあるため、コンセント用電源アダプターは必ずご持参下さい。
- 3) プロジェクターとの接続は〔mini D-sub 15pin〕です。モニター出力端子が〔mini D-sub 15pin〕でない場合は、必ず変換ケーブルをご持参下さい。
- 4) 出力解像度は XGA (1024 × 768) です。これ以上のサイズでデータを作成すると、ご自身の PC 画面上では正常でも、実際に映写されると正しく表示されないこともありますのでご注意ください。また、スクリーンセーバーや省電力機能等の設定がされていないことをご確認願います。
- 5) 動画を使用する場合は、必ず PC センターにてテストランをしてご確認下さい。
- 6) バックアップデータとして CD-ROM または USB メモリスティックにてデータを必ずご持参下さい。

第21回 胸部放射線研究会 プログラム・抄録集

発行：胸部放射線研究会

事務局：滋賀医科大学放射線医学教室

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

TEL：077-548-2288

FAX：077-544-0986

E-mail：hqradio@belle.shiga-med.ac.jp

制作：Next COMPANY **Secand** 株式会社 セカンド

熊本県熊本市水前寺4丁目39-11

TEL：096-382-7793

協賛・広告掲載会社一覧

アストラゼネカ株式会社
石黒メディカルシステム株式会社
イーザイ 株式会社
株式会社エルクコーポレーション
キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社
京都医療設計
株式会社 京都科学
財団法人 近畿健康管理センター
株式会社クリニカルサプライ
コニカミノルタヘルスケア株式会社
GE 横河メディカルシステム株式会社
塩野義製薬株式会社
シーメンス旭メディテック株式会社
第一三共株式会社
大正富山医薬品株式会社
タイコヘルスケアジャパン株式会社
株式会社ダテメディカルサービス
テルモ株式会社
東芝メディカルシステムズ株式会社
日本メジフィジックス株式会社
日本イーライリリー株式会社
日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
バイエル薬品株式会社
株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパン メディカルシステムズ
ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
メルク株式会社

〈50音順〉